

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

実施日：令和6年6月7日（金） 13:50～14:35

場 所：安来市立安田小学校

指導者：6年生担任1名

埋蔵文化財調査センター講師1名

1. 弥生時代のくらしにふれてみよう

～伯太町の遺跡から見える人々のくらし～

2. 本時のねらい

- ・身近な地元の遺跡や歴史について学習することを通して、ふるさとの歴史に対する興味や関心を高める。
- ・本物の土器や石器に触れることで、古代の人々の生活の様子や技術などについて考えることができるようにする。

3. 展開

時間	学習内容	支援
0	1. 本時の流れを知る。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 伯太町の遺跡の話を知ったり、土器に触れたりして、古代の人々のくらしを知ろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるように、学習のながれと講師の紹介をする。 ・講師による自己紹介
5	2. 地域の古代の文化について知り、古代人の生活について考える。 ・周辺地域の遺跡についての説明を聞く。 ・弥生時代のくらしについて説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡からどのようなことが分かるか説明する。
25	3. 土器や石器を実際に触れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・安来で出土したものを提示する。
40	4. 学習のまとめ ・感想発表	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り用紙を配る。

4. 準備物

- (1) 学校 大型提示装置、振り返り用紙、カメラ
- (2) 埋蔵文化調査センター パワーポイントデータ、配布資料、カメラ、遺物
- (3) 児童 筆記用具、教科書